

ピースあいち・メールマガジン86号(2017年1月号)「所蔵品から」画像  
小学館なかよし文庫「ふしぎなたいこ」 絵アカマツ・トシコ





ふしぎなたいこ

エメリアンは、しょうじきなよい男おとこでした。  
 あるとき、しごくに てかけようとして、草くさはらのなかの み  
 ちを とおりかかりますと、あぶなく一びきの かえるを ふみ  
 つけそうに になりましたが、エメリアンは、やっと またいでと  
 おりました。すると とつぜん うしろで、  
 「エメリアン」  
 と、たれかが よぶ こえが しましたので、ふりがえると、そ  
 こには、きれいな 女おんなの人が 立たって いました。

-(2)-



きれいな 女おんなの人は、エメリアンに いいました。  
 「エメリアンさん、あたしを、およめさんにして くださいな。」  
 「およめさんに。あなたが、わたしの およめさんになっ  
 ださるの ですか。それは、ありがたい。」  
 そう 言って エメリアンは、さっそく その 女おんなの人と ふ  
 ふに なりました。そして ふたりは、まちへ 行って、小さな  
 うちを かりて、なかよく いっしょに くらしました。  
 すると、ある日ひの こと、おうさまが ばしやに のって、その  
 町まちを おどりに なって、エメリアンの およめさんの すがた  
 を 見て、その うつくしいのに びっくりなさいました。

-(4)-



おうさまは ばしやを どめて、エメリアンの およめさんを  
 そばへ よんで、おたずねに なりました。  
 「おまえは、なにものじゃ。」  
 「はい、しやうじきて はたらきものの エメリアンの つまで  
 ございます。」  
 それを きいた おうさまは、そのまま ばしやを いそがせて  
 おしろへ おかえりに なりましたが、どうしても、きれいな エ  
 メリアンの およめさんの ことを、わすれる ことが できませ  
 ん。わがままな おうさまは、なんどかして、エメリアンの うつ  
 くない およめさんをおしろへ よびたいと おもいました。



そこで おうさまは、けらいを よんで、  
 「エメリアンの およめさんを、エメリアンから とりあげて、お  
 しろへ つれてくる ほうほうは、ない だろうか。」  
 と そうだんなさいました。  
 すると、わるい けらいは もうしました。  
 「そんな ことは、わけの ない ことで ございます。エメリア  
 ンは、はたらきもの だど いいますから、ごてんへ よんで、た  
 くさんの しごとを、わりに いいつけて、くたくたに なるまで  
 しごとを させると、よろしうございます。きっと、つかれて し  
 んで しまいます。」



つぎの 日、おうさまは、わるい けらいの ことばに したが  
 って、さっそく エメリアンを おしろへ よびだして、  
 「おまえは、きょうから、にわつくりの しごとを するん だ。」  
 と おいっつけに なりました。  
 それは、ひどい かしごとで、とても ひどりでは、わりなし  
 ごと でしたけれども、しょうじきな エメリアンは、いっしょう  
 けんめいに はたらいて、たった 一日で、その しごとを かた  
 ずけて、げんき よく、およめさんの まって いる おうちへ  
 かえって、まいりました。  
 およめさんは、にこにここと エメリアンを むかえました。



おうさまは、こえを ふるわせて、  
 「はやく エメリアンを ころして、あの うつくしい およめさ  
 んを、ごてんへ つれてきて くれ。わしは、花を ながめる よ  
 うに、あの およめさんを ながめたいの だ。」  
 と おっしゃいました。  
 けらいは、さっそく つかいを やって、もう 一ど、エメリア  
 ンを よびだして、それから おうさまに、つぎのような ごめい  
 れいを おだしなさいと すすめました。  
 「おしろの まえの 山へ、大きくて りっぱな お寺を たてな  
 さい。ふつかの うちに たてなさい。」



つぎの、あさ、エメリアンが 目を、さま  
 すど、およめさんが、くぎど かなづちを  
 もってきて、いきました。  
 「まあ、とにかく、おでかけに、なって、ご  
 らんなさいな。」

エメリアンが、おしろの、まえの、山え  
 いきますと、そこには、ちゃんと、りっぱな  
 お寺が、できていて、あとは、一本の、くぎ  
 を、うちこむだけに、なっていました。エメ  
 リアンは、さっそく、くぎを、うちました。



けらいは、すっかり、こまって、しまいました。  
 おうさまは、いよいよ、はらを、たてて、おっしゃいました。  
 「エメリアンは、しゃくに、さわる、男だ。もう、どんな、こと  
 が、あっても、たすける、わけには、いけません。あれを、うまく  
 やっつける、ほうほうを、かんがえろ。もし、かんがえる、ことが  
 できなければ、おまえたちの、くびを、きるから、そう、おもえ。」  
 たいへん、こまった、けらいは、また、エメリアンを、よびだし  
 て、おうさまに、つぎの、めいれいを、ださせました。  
 「しろの、まわりへ、舟を、はしらせる、ことの、できるような  
 川を、ほれ。もし、できなければ、ころしてしまおう。」

ピースあいち・メールマガジン86号(2017年1月号)「所蔵品から」画像  
 小学館なかよし文庫「ふしぎなたいこ」 絵アカマツ・トシコ

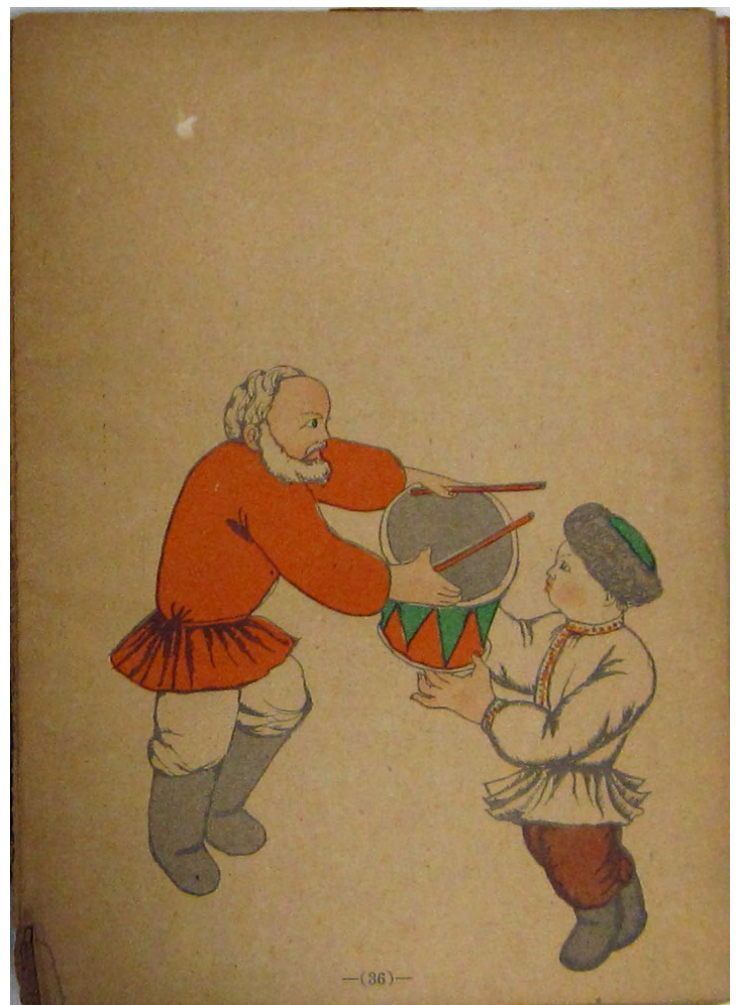


Illustration of a king and a child dancing, surrounded by a decorative border of musical instruments and symbols.

みなさんが、よい おもだちを、ひとりでも おおく、もって、いるのは、たいへん、しあわせな、こと、であります。よい、ごほんは、みなさんの、ほんとうの、よい、おもだち、になって、みなさんの、ところを、りっぱに、することが、できる、のです。

みなさんは、「なかよしぶんこ」の一つ一つの、ごほんとも、これから、なかの、よいほんとうの、おもだちに、なっていて、いたいただきたい、おもいます。

「なかよしぶんこ」は、しょうがつころの、一わんせい・二ねんせい・三ねんせいくらいのかたち、のために、ふくとくほんとして、つくられる、ものであります。

昭和二十三年五月五日印刷  
 昭和二十三年五月十日発行  
 定価(紙拾五圓)  
 東京府墨田区東横田一丁目二番二號 東京墨田印刷株式会社 印刷  
 東京府墨田区東横田一丁目二番二號 東京墨田印刷株式会社 発行  
 日本出版印刷株式会社

會員 會員 A 119027